

## 【 教 育 長 賞 】

作 品	学校名	学年	氏名
僕が笑うと母は優しくなる 母が笑うと家の明かりが増してくる 父が笑うと心強くなる	緑小	6	佐藤 煌
小さくなった母の背中 強くなった私の力 何枚がいいかな肩揉み券	泉が丘中	3	小宮瑠楠
「俺のばっちゃん最強だから」 魔法の声に背中を押され 酷暑の夏を乗り越えられた	川上小 秋葉中	一般	横浜ばあば

## 【 会 長 賞 】

見つかってよかった2さいの子。 ぼくのおとうと同じ年。 しっかり手をつないであるくようになった。	緑小	1	中すゆうじ
せんそうは、いのちもなくなる。 たべものもなくなる。いえもなくなる。 みらいもなくなる。すべてなくなる。	東汲沢小	1	小見山琴羽
うまれたときはしにそうで、 しあわせにそだってほしいと思われた わたしの名前は育幸です。	小田小	2	松本育幸
つらい時、ママは話を聞いてくれる。パパはだっこではげましてくれる。だからぼくは、ニッコニコ。	相武山小	2	つか田とよみち
おとうとがうまれた。 少しのさびしさと、 たくさんのしあわせ。	原小	3	田村心美
新盆のおくり火を消す夕立ちに まだみんなといたいよ、ときこえた祖父の声	緑小	6	陽菜乃
反抗期 親との間にできるかべ でも親の愛情は かべごしに伝わってくるよ	能見台南小	6	しろくま
母と言いついてしていると 兄がそわそわしはじめて 私に助け舟を出してくれる お兄ちゃんありがとう	秋葉中	2	小林羽衣
“死にたい” そう声に出して言ったけれど、 胸に手を当てれば” 生きたい” そう命は叫んでいるんだよ。	富岡東中	3	齊藤麻衣子

作	品	学校名	学年	氏名
なんでもできるお兄ちゃん 四年経つとお兄ちゃんの歳でもやっぱりお兄ちゃんは 四年先にいる。頑張れ私。		茅ヶ崎中	3	石濱 夢
「輝いている未来がいいな」と書いた娘 何があっても、何が無くても あなたの命は輝いています		東中田小	一般	今別府尚美
自閉症の息子よ、こだわれこだわれ、 とことんこだわれ。その代わりに、 母はどこまでも付き合うから。		港南台ひの 特別支援	一般	□石由吏江
「大切に作るからね。」 産まれたばかりの弟を抱きながらこう語りかけた、 ちっちゃなお兄ちゃん。ありがとう。		矢向小	一般	小林智子
あなたが産まれたその日から 私の人生に色がついた とっても素敵な色がついた		菊名小	一般	野村宏代
子どもの未来を見たいから 今は痛いので我慢して 私は病気を治します		菊名小	一般	飯嶋理恵
<b>【 奨 励 賞 】</b>				
いのちにね うえもしたも ないんだよ		桜岡小	1	よこやまそうた
ママがかわいいから だいすきで、ぎゅうしたいから わたしはにこにこする		南本宿小	1	芦田夏純
たった一日だったけど さみしかったよおにいちゃん たくさんおみやげありがとう		二つ橋小	1	麻績匡隆
だいすきないもうと。 生まれてからたくさん、 しゅじゅつしてる。ぼくが、 いしゃになってなおすからね。		原小	2	福井大翔
おとうとが生まれたよ。あーあーあーうーうーうー わたしにはわかる大せつなことば。		相武山小	2	宮里来歩

作 品	学校名	学年	氏名
毎年夏に会える祖母 いつから小さくなったかな 今まで世話になった分 いつか僕が支えるよ	鶴見中	3	三井朝陽
「命を大切に持って帰ってきてね。」母は毎朝言うんだ。 今日もちゃんと持ち帰るからね。	東中田小	4	小田康瑛
幸せになりなさい。いつも そう言う99才ひいおばあち ゃん。認知症じゃない、私 の事ちゃんとわかってる。	富士見台小	5	竹並智咲
「自分で決めろ」と言うけれど、 僕はいろいろやりたいんだ。 迷っている。まだ迷っている。	帷子小	6	みらいは∞
一人が悲しんだら一人がその人をなぐさめる。 一人が笑ったらもう一人も笑う。 そんな家族たったらいいな。	鶴ヶ峯中	2	あまはむ
子どもの障がいを言い訳にしない それが理由でお母さんにできないことなんて ひとつもないんだよ	港南台ひの 特別支援	一般	橋本静江
「大きくなったらママのお母さんになってあげる」 3才のあなたがくれた言葉はずっとずっと私の支え	川上小 秋葉中	一般	小林郁美
みらいは、それほど遠くなく。 朝顔のつるより早く、 伸びゆく子どもたち。	日限山小	一般	松浦典子
「ごめんなさい」の一言で 許されるのはどちらだろう 子育ては迷いの連続 謝ってくれて「ありがとう」	日限山小	一般	鈴木奏子
寝室に 川の字二つ 寝る四人の子どもらの 将来楽しみ 幸せかみしめ	品濃小	一般	臼井裕子
<b>【 佳 作 】</b>			
ママのおなか ポコポコうごくよ わくわくしないのち	小菅ヶ谷小	1	川岸咲菜

作	品	学校名	学年	氏名
あかくて、あったかくて、いっこしかない。 じぶんのいのちはひとつしかない。 いきてるってうれしいこと。		倉田小	1	加藤瑠莉
にゅういんちゅうのぼく おもいだすのは、 かぞくのかおとこえ		原小	1	横塚正之
ひいおじいちゃんがなくなった。 たくさんあそんでくれてありがとう。 これからもみまもりよろしくね。		東小	1	杉野匡優
いつまでも すがたなくても いっしょだよ		倉田小	1	前田理来
ながいきしたい なんのため いきていないと なにもかなわないから		東汲沢小	1	将来は科学者
けんかしてもいい なかなかおりすればいい だってきょうだいだから		東中田小	1	岡村宥利
わたしはね いつでもママと くっつきたい		原小	1	松浦珠花
ぼくのおねえちゃんにはしょうがいがある。 でもいつもにこにこもだちたくさん。 ふしぎだな。		葛野小	2	西木 航
みらいのゆめいっぱいあるよ やりたいこと、いっぱいあるよ 三行で書けないよ 百行詩なら書けるかな		菊名小	2	平田更紗
お母さん、「チャージさせて」 とだきしめてくる。実はね、私もチャージ中。		洋光台第一小	2	大滝一颯
おかあさんがおいしいりょうりを作った。 食べると、おにいちゃんほっぺをなでる。 ぼくも、なでる。		南山田小	2	鷹羽桐汰
ばあばあがびょうきで、体の右はんぶんが、 うごかなくなった。わたしは、 たくさんたすけたいと思った。		相武山小	2	清水頭望央

作	品	学校名	学年	氏名
楽しいとき、つらい時 いつだってそばにいてくれる 家族はぼくのおうえんだん		洋光台第一小	3	村松煌泰
ママのハグは、安心する。 ママが笑うと、私も笑っちゃう。 ママはまほう使いかな？		大豆戸小	3	諸星天音
お弟がだっこされている。 九才だけどわたしだってだっこされたい。 だから家族みんなでぎゅうっとする。		洋光台第一小	3	松田陽菜
いつもつないでた右と左の 大きな手。今、右と左は妹 と弟のとっても小さな手。 私も小さな二人守れるかな		上大岡小	3	横山寧々
台風之夜 がんばれがんばれせみの羽化 やっとでてきたすーっとすき通った小さな命		日限山小	3	加藤才彩
あなたの、そのやさしさが 大切な「いのち」をまもるよ 世界中に やさしきひろげよう		不動丸小	3	田中明美
他の人には見られたくないけれど お母さんと歩いていると 手をつなぎたくなる		小田小	4	すみれ
こんにちは、ぼくの弟。 生まれてきてくれて、あり がとう。一緒だと1人でい る時よりも楽しいよ。		小田小	4	すう
たん生日 ママが一番がんばった日 ぼくも日々がんばろう		東中田小	4	渡邊光星
わたし十才おめでとう ママも「お母さん」十才おめでとう 言葉にできないありがとう		汐見台小	4	高谷結菜
いつもどおりの いってきます いつもどおりの ただいまで みんな笑顔の合言葉		東中田小	4	田場壮真
他にも部屋はあるけれど いつもみんなで 同じ部屋		宮谷小	4	浦崎光之助

作	品	学校名	学年	氏名
お母さん	カイクンって 呼ぶのは 家の中だけにしてね はずかしいから	洋光台第一小	4	星海里
	「大きくなったね」って、私とつないだ手を ぶんぶんしながら ママが笑って言ったけど、 きのうは、「赤ちゃんの時とおなじ 顔してねてる」って言ってたよ	汐見台小	4	渡邊李佳
	お父さんのいびき、お母さんの寝息、 お兄ちゃんの歯ぎしり、そして自分の寝言 我が家の夜は仲良く大合唱	汐見台小	5	かぼす
	外に出て、足元見たら、小さな虫。 トコトコ一生けんめい生きている。 かがやく命、みつけた。	平戸小	5	みー太郎
	ママが言った 「あなたがとってもかわいくてかわいくて もっとこどもがほしくなった」って 今、わたしには弟が2人	菊名小	5	森 こなつ
	今は一緒にいるけれど 大人になるとはなれちゃう だから今を大事にしよう 家族に愛されるぬくもりを	戸部小	5	今ある時間
	气象台見学に行った 気象予報士が私の夢 みらいも予報できるかな 晴れだといいな	並木中央小	5	杉田和奏
	お父さん、お母さんが笑顔になった命、 大切に育ててくれた命。がんばって 生きることが恩返し	四季の森小	5	蛭田真白
	下を向いた そしたら家族の足音、やさしい声 私には太い糸が見えた	日限山小	5	水野珠和
	ねるまえに 母とはなせる しあわせじかん あしたもあんしん おやすみなさい	東小	5	鈴木春菜
	お母さんのスープはうす味 でもわたしたちへの愛情はとてもこい味	小田小	5	大塚菜々陽

作	品	学校名	学年	氏名
父と姉の後ろ姿が そっくりで 思わずふふと笑ってしまう。		西金沢学園	5	関本嘉玄
将来の夢は決まってない 私よ悩め悩むんだ 明日の出会いが夢になる… カモ		原小	5	前田葵結
大丈夫、何があっても、家族みんなはあなたの味方		東中田小	5	ぷーち
仕事でおつかれお父さん アイコンタクトで マッサージ		東中田小	5	村越優人
命はね、一人のものじゃ ないんだよ。 命はね、みんなのもの でもあるんだよ。		東中田小	5	久世愛尚
ひとりより 家族みんなで食べるごはん おいしいね		東中田小	5	佐々木勇瑠
一人っ子ってつまらない。 だけどね、今も、これからも、お母さん一人じめ！ 一人っ子ってなんかいい。		東中田小	5	長谷川心海
自分も大切だけど 家族も大切 家族と笑う 時間が大切		東中田小	5	村松芽生
いつもいっつもくっつき虫。 うるさいしえらそうで、とつても腹が立つ。 でも、とつてもおもしろい私の妹。		東汲沢小	5	平石柚奈
僕は生きている。 楽しさがあつたりつらさがあつたり。命は大切な宝 物。		東中田小	5	佐藤流音
みらい それは 今までの自分とこれからの 自分を結ぶ交差点		能見台南小	5	レモン
未来とは 自分で世界を 変えられる		東中田小	5	阿部 元

作	品	学校名	学年	氏名
家族はね 1番大事な宝物		東中田小	5	中島愛梨
今朝も「おはよう、起きて」とまだねている私の髪をなでるママのひんやりした手が好き あと一分だけ、ねたふりしようかな		汐見台小	6	渡邊朔彩
「大丈夫。なんとかなるから」 どんな心配なときも 母の笑顔に安心する。		川上小	6	小林ひかり
来年の 夏も食べたい ばあばの料理 ずっと元気でいてほしい		鶴見小	6	三井大知
兄と姉 私の先を歩いてきたから いろんなことを教えてくれる いろんな気持ちをわかってくれる		川上小	6	小林ひかり
そばにいるのが当たり前 当たり前ってないんだね 今までぬくもりありがとう もっとふれ合いたかったな		二つ橋小	6	麻績壮佑
今年こそ ママにもあげたい 夏休み		池上小	6	亀井彩生
悲しいこと 辛いこと 家族に話せば三等分 うれしいことは三倍になる		瀬戸ヶ谷小	6	坂本桃花
朝起きると母の布団に入りこみ おしゃべりしながらマッサージしてもらう さあ充電完了		川上小	6	小林ひかり
命はなんのためにある。 いじめでこわす、ためではなく、みんなと笑い、 泣くためにある。		中和田小	6	エゴどん
妹が笑っていると私もうれしい、 妹が泣いていると私も悲しい、 私と妹はずっと一緒の大切な家族		帷子小	6	庄司未来
見て見ぬふりはやめよう。小さな命を救う為に、 助けてあげよう。大人の暴力は、しつけじゃない。		並木中央小	6	平田桃華

作	品	学校名	学年	氏名
はじめて抱いた仔うさぎ あったかくてやわらかくて 命の重みをずしりと感じた。		宮谷小	6	浦崎雅之助
母が産み 今生きている 大切に 自分ひとりの ひとつのいのち		もえぎ野小	6	ミッキーマウス
ぼくの大切なおじいちゃん。 今まで車に乗せてもらった分、 大きくなったらそれ以上に乗せてあげるね。		上大岡小	6	赤崎浩太郎
大好きな私の家族の この笑顔 大人になっても 見れますように		十日市場小	6	梶田ひかる
甘えて僕に寄りかかる 犬から聞こえる心臓の音 ドクドクドク かわいいな		相武山小	6	小松史弥
自分のまわりを見る たのもしい父、安心できる母 自慢のぼくの家族		並木中央小	6	鎌田悠希
いつもはバラバラでも もしもの時は 一致団結わたしの家族		日限山小	6	安間咲直
小さいころはあんなにけんかした姉 今は一番の味方 姉が笑うと私もうれしい 姉がつらいと私も苦しい		川上小	6	小林ひかり
ねえ聞いて 私の話。 家族の分だけ 答えがあるから。		並木中央小	6	らんらん
お母さんがかぜでダウンでもだいじょうぶぼくが一日 お母さん		東中田小	6	前田惟吹
ママのごはんは太陽の味 やな事あってもあったかい まるくなってつながるよ みんなのこころ		西金沢学園	6	岡田紗弥
ぼくたちに 力をくれた命たち 「いただきます」		中和田小	6	岡田惟咲

作	品	学校名	学年	氏名
私のもとにやってきたハムスター 超かわいくて親ばかって言葉の意味が 少しわかった		川上小	6	小林ひかり
「どんまい」は 未来の僕への 応援さ		並木中央小	6	てるや
「いただきます」 命をいただくときの 大切な言葉		希望が丘中	1	井關千瑤
命は とても小さくて弱い でも とても大きくて強いものでもある		富岡東中	1	下村悠生
ねえみんな スマホ見ないで お話しよう		中和田中	1	大和田菜々
朝いち母とけんかして、それでもからあげ今日もうまい。 体にしみるジュシーさ心晴ればれごちそうさん。		中田中	2	川村勇太
生きたいと こころささやく あしたへと		上菅田小	3	福島七々子
ただいまの顔はたくましい。 寝ている顔は生まれた時と 同じ。行ったり来たり 少しずつ大きくなってね。		並木中央小	一般	ひで
私が「ただいま。」娘が「おかえり。」いつの頃から か 逆転してた。いつも一人で待たせてごめんね。		宮谷小	一般	なな
命も危うかった誕生に ごめんねと泣いた日々 今笑顔でここにいるあなたが眩しい 生まれてくれてありがとう		川上小 秋葉中	一般	小林郁美
お弁当箱という小宇宙に 栄養と、離れた時間を埋める想いを詰めて 今日も娘を送り出す		川上小 秋葉中	一般	小林郁美
ーお母さんもちゃんと自分の人生を生きていくー 障がいのある我が子に誓う 母の決意		港南台ひの 特別支援	一般	橋本静江

作	品	学校名	学年	氏名
腹減った 腹減った 夕飯食べても 腹減った 腹いっぱい笑顔がいいね 思春期男子と秋の空		滝頭小	一般	美土路真奈美
あなたが どこにしようと 幸せなら それでいい		相武山小	一般	尾崎祐美
家族残し14年ぶりの同窓会 帰宅後、息子にきく 「今日楽しかったことは？」 次男「ママに会えたこと。」		川上小	一般	當間梓
もう五年生。 まだ五年生。 ほんとは、もっと甘えたいよね。		宮谷小	一般	ななママ
パパのチュー 家族キャーキャー 逃げまわる		さちが丘小	一般	今村暁